

はじめに

早いもので、当館が複合文化施設(アオーゼ)に移転してから、丸3年を経過しました。この間、多くの市民の皆さまや学校・公民館にも幅広くご活用いただき、平成30年度は入館者も過去最高の年間1万5千人を超えることができました。市民のために博物館が役立っていることを改めて感じさせていただいた1年間だったと存じます。

また、平成30年3月には、国立科学博物館が北部九州豪雨災害の復興支援事業として科博が所蔵する実物恐竜の化石や実物大の巨大レプリカを無償でご提供いただき、「とりになったきょうりゅうのはなしー恐竜進化の物語ー」を開催することができました。恐竜化石は日田市から産出することはなく、他市の博物館に行かなければ見ることのできないものですが、科博の学芸員の皆様のご協力により、多くの市民に迫力のある実物の恐竜をお見せすることができ、思い出に残る展示会となりました。

これからも、当館は多くの皆様方にご協力を賜りながら、来館される方々にご満足いただける博物館運営を目指していきたく存じます。

令和2年3月31日

日田市立博物館長 梶原文人

《 目 次 》

はじめに

I	平成 30 年度の概要	1
	1. 博物館の施設概要	
	2. 組織・運営体制	
	3. 博物館日誌	
	4. 入館者の状況	
II	調査活動	8
	1. 天瀬町馬原で発見された地層調査	
III	教育普及活動	9
	1. 展示事業	
	(1) 特別展「国立科学博物館 とりになったきょうりゅうのはなし」	
	(2) 企画展「自然の造形美～マリオワールドの世界～」	
	「鳥と人との関わりー日田の野鳥のひみつー」	
	(3) 第 57 回小・中学生自然研究作品展	
	(4) 前津江町の自然展	
	2. 普及啓発活動	
	(1) アオーゼ 2 周年記念事業	
	(2) MK G (三隈川) 総選挙	
	(3) 科学実験にチャレンジ事業	
	(4) 幼児の好奇心をのばす自然博物館事業	
	(5) 小・中学生対象自然観察教室(自然探検隊)	
	(6) 夏休み小・中学生対象自然教室	
	(7) 一般市民対象自然教室	
	(8) 職場体験の受け入れ	
	(9) 博物館実習の受け入れ	
IV	その他	32

I 平成 30 年度の概要

日田市立博物館は、昭和 35(1960)年 12 月 1 日に開館しました。建物の老朽化に伴い、平成 28(2016)年 8 月 5 日に、複合文化施設アオーゼ 3 階へ移転し、本年度で 3 年目を迎えました。

1. 博物館の施設概要

(博物館の面積) 1,176.94 m²

- ・常設展示室 495.23 m²
- ・企画展示室 49.92 m²
- ・収蔵庫 198.09 m² (1 階/24.30 m² 2 階/18.91 m² 3 階/154.88 m²)
- ・事務室 91.71 m²
- ・ボランティアルーム 48.54 m²
- ・エントランス・通路 150.72 m²
- ・トイレ 33.72 m²
- ・給湯室 6.88 m²
- ・倉庫 102.13 m² (機材倉庫 75.37 m² 書庫 26.76 m²)

※複合文化施設全体の面積 2,036.92 m²

- ・敷地面積 5,708.7 m² (駐車場普通車 52 台収容)



日田のなりたちゾーン



自然と暮らしゾーン(手前は地形ジオラマ)



水辺の生き物ゾーン



企画展示室

2. 組織・運営体制

博物館職員

平成30年度の職員体制については以下のとおりです。

《平成30年度博物館職員》

職名	氏名	備考
館長(社会教育課長)	梶原 文人	平成30年4月1日～
主幹(総括)	行時 志郎	平成19年4月1日～
主任	橋本 知佳	平成29年4月1日～
主任	田吹 隆一	平成29年4月1日～
臨時職員	矢野 美穂	平成30年4月1日～平成31年3月31日
臨時職員	矢羽田 栞	平成30年4月1日～平成31年3月31日

《令和元年度博物館職員》

職名	氏名	備考
館長(社会教育課長)	梶原 文人	平成30年4月1日～
主幹(総括)	行時 志郎	平成19年4月1日～
主任	橋本 知佳	平成29年4月1日～
主任	田吹 隆一	平成29年4月1日～6月30日
主査	田中 健之	令和元年7月1日～
臨時職員	櫻木 健二	平成31年4月1日～
臨時職員	末次 裕任	平成31年4月1日～
臨時職員	塩川 美紀	令和元年9月13日～

博物館協議会

博物館協議会委員の任期は2年間で、平成29年4月1日から平成31年3月31日までとなっています。平成29～30年度の博物館協議会委員は以下のとおりです。

《平成30年度博物館協議会委員》 任期:平成29年4月1日～31年3月31日

	役職	氏名	専門領域	備考
1	委員長	古田京太郎	植物生態	市議会議員
2	副委員長	奥森 修二	鳥類	日本野鳥の会日田支部
3	委員	園田 匠	環境	ひた水環境ネットワークセンター
4	委員	五島 英司	昆虫	昭和学園高校
5	委員	梶原 浩	植物	ひた少年少女発明クラブ
6	委員	石原 康弘	地質	光岡小学校
7	委員	渡邊 良枝	—	女性有識者
8	委員	木戸 道男	地質	久留米大学
9	委員	合谷 勝彦	植物	日田自然愛好会
10	委員	郡山 治久	—	小中学校理科主任代表

・博物館協議会の開催

平成30年度の博物館協議会は、以下の通り開催いたしました。

	開催日	議事内容
第1回博物館協議会	平成30年4月14日	平成30年度事業計画
第2回博物館協議会	平成30年9月17日	小・中学生自然研究作品展審査
第3回博物館協議会	平成31年2月23日	平成30年度事業報告

3. 博物館日誌

- 4月14日 第1回博物館協議会開催
- 4月16日 天瀬町足跡化石調査実施
- 4月24日 天瀬町歴史研究会見学（12名）
- 5月1日 大山小6年生見学（19名）
- 5月6日 特別展「太古の湖とそこに暮らした生き物たち」終了
- 5月19日 春の自然観察会開催・第1回科学実験にチャレンジ開催・春の星空観望会開催
- 5月20日 春の探鳥会開催
- 6月1日 伝建保存日田大会参加者見学（73名）
- 6月2日 第1回自然探検隊
- 6月8日 日田支援学校職場体験1名受け入れ
- 6月9日 若宮小5年生見学（60名）
- 6月12日 三芳小4年生見学
- 6月13日 益城町役場職員視察（7名）
- 6月14日 小野小2年生見学（8名）
- 6月16日 第2回科学実験にチャレンジ
- 6月19日 桂林小2年生見学（63名）
- 6月20日 東溪小4年生見学（15名）
- 7月3日 国立科学博物館職員視察（2名）
- 7月7日 中津江公民館 野外観察協力
- 7月11日 考古学講座(行時「日田の地質・地形について」)
- 7月14日 企画展「自然の造形美～マリオワールドの世界」開始(~10月8日まで)
- 7月18日 博物館実習生受け入れ（~28日まで）
- 7月21日 MKG総選挙開始（~8月12日まで）、第3回科学実験にチャレンジ
- 7月22日 企画展関連イベント「化石・流木を探そう」開催（北九州市芦屋海岸）
- 7月24日 干潟観察会開催（中津市）
- 7月25日 干潟観察会開催（有明海）
- 7月28日 植物教室開催・第2回自然探検隊
- 7月29日 企画展イベント「化石・流木を使ってアート作品ほつくろう」開催
- 8月4日 地質探検教室開催
- 8月5日 ネイチャーゲーム開催

8月12日 アオーゼ開館2周年記念謎解きクイズラリー開催
8月18日 第4回科学実験にチャレンジ開催、夏の星空観望会開催
8月19日 植物昆虫同定会開催
8月25日 第3回自然探検隊
8月26日 筑後川フェスタ実行メンバー来館(40名)
8月30日 三隈中学校職場体験
8月31日 三隈中学校職場体験
9月6日 三隈中1年生見学(80名)
9月7日 三隈中1年生見学(80名)
9月13日 大山公民館講話(行時「太古の湖とそこに暮らした生き物たちについて」)
9月14日 日田支援学校見学(20名)
9月15日 第4回自然探検隊、第5回科学実験にチャレンジ開催
9月17日 第2回博物館協議会開催
9月19日 小中学生自然研究作品展開始(～10/8まで)
9月26日 戸山中1年生見学(14名)
10月7日 明豊高校通信制生徒見学(10名)
10月11日 石井小学校見学(23名)、朝日小学校3年生見学(20名)
10月12日 光岡小2年生見学(112名)
10月18日 大山小3年生見学(25名)、いつま小2年生見学(8名)
10月19日 みそら子ども園見学
10月20日 第6回科学実験にチャレンジ開催
10月24日 前津江小3年生見学(5名)
10月27日 企画展「野鳥と人とのかかわり」開始(～1月20日まで)
10月31日 天然記念物緊急調査事業東峰村主催(第1回委員会 行時参加)
11月1日 光岡小1年生見学(91名)
11月2日 日田高校見学(20名)
11月3日 第5回自然探検隊
11月5日 日田高校見学(100名)
11月6日 日田高校見学(80名)
11月8日 東溪小3年生見学(7名)、日田高校見学(40名)
11月11日 ネイチャーゲーム開催(亀山公園)
11月12日 林業セミナー講演(行時「日田の山々と信仰について」)ホテルソシア
11月13日 林業セミナー参加者見学
11月14日 大山小学校6年生対象化石掘り体験実施。日田林工見学(160名)
11月17日 第7回科学実験にチャレンジ
11月18日 秋の野鳥観察とお話し会
11月23日 くるめウス見学(20名)
11月24日 自然探検隊 活動のまとめ報告会開催
11月29日 三和小2年生見学(44名)

- 12月1日 長崎県しまつミステリーツアー見学 (26名)
- 12月10日 昭和学園高校見学 (13名)
- 12月13日 昭和学園高校見学 (32名)
- 12月15日 第8回科学実験にチャレンジ
- 1月19日 第9回科学実験にチャレンジ
- 1月24日 西有田公民館講演(行時「鉄の歴史について」)、三和小3年生見学 (50名)
- 1月25日 佐世保市鳥瀬美術センター職員視察 (2名)
- 2月3日 冬のバードウォッチング(亀山公園)
- 2月14日 前津江小学校見学
- 2月15日 日田支援学校高等部1年生見学
- 2月16日 科学実験にチャレンジ開催
- 2月20日 前津江町の自然展開催(~5月12日)
- 2月21日 いつま小3年生見学
- 2月23日 博物館協議会開催
- 2月27日 日田支援学校高等部2年生見学
- 3月13日 恐竜展案内者説明会
- 3月14日 日田漁業協同組合より1階展示水槽にアユの稚魚を放流
- 3月15日 恐竜展内覧会・小野小学校見学
- 3月16日 恐竜展開始 (~5月12日まで)



東溪小学校での淡水魚調べに協力



大山小学校6年生の化石発掘体験に協力

4. 入館者の状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの年間入館者数は以下のとおりです。

平成30年度入館者数(人)

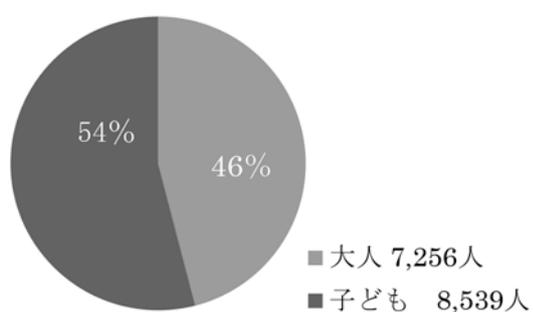
	開館日数	大人	子ども	合計	市内	市外
4月	26	275	324	599	505	94
5月	26	396	430	826	677	149
6月	26	435	573	1,008	828	180
7月	26	504	606	1,110	962	148
8月	27	796	902	1,698	1,335	363
9月	26	723	914	1,637	1,411	226
10月	26	493	643	1,136	959	177
11月	26	674	737	1,411	1,007	404
12月	24	515	610	1,125	986	139
1月	24	302	355	657	568	89
2月	24	314	355	669	548	121
3月	27	1,829	2,090	3,919	3,468	451
合計	308	7,256	8,539	15,795	13,254	2,541

(開館日数 308日／休館日 57日)

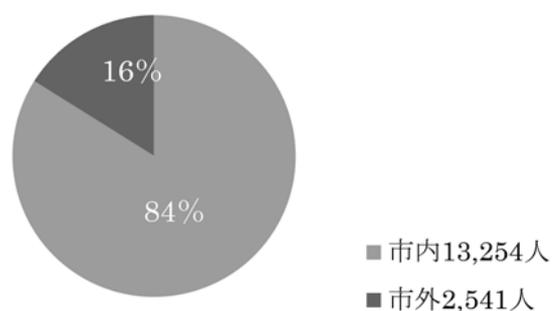
※3月は、恐竜展の開催のため、入館者が急増しています。

入館者数の比較

大人と子どもの割合



市内と市外の割合



平成29年度の入館者の割合を比較すると、子どもが大人に比べて多く、博物館が子どもたちによく利用されていることがわかります。また、市内からの入館者と市外からの入館者数を比較すると、84%が市内であり、市外からの入館者は少ないことがうかがえます。

また、全体の入館者数は恐竜展の開催も関係して15,795人と過去最高の年間入館者数となりました。

過去の博物館入館者数の推移

単位:人・日

年度	入館者数	開館日数	年度	入館者数	開館日数	年度	入館者数	開館日数
昭 35	14,129	95	55	5,112	301	12	2,040	293
36	23,822	299	56	5,199	298	13	2,588	297
37	13,486	302	57	4,847	279	14	2,263	298
38	10,138	305	58	4,138	296	15	2,553	299
39	14,222	305	59	2,100	297	16	1,968	298
40	14,819	294	60	2,823	301	17	2,004	299
41	10,335	300	61	2,451	296	18	2,005	299
42	17,670	298	62	2,506	301	19	1,855	301
43	13,587	295	63	2,581	298	20	1,864	302
44	12,564	296	平元	1,172	299	21	2,395	307
45	12,900	294	2	1,529	295	22	2,355	307
46	11,257	303	3	2,471	296	23	2,633	303
47	10,336	301	4	1,938	296	24	2,302	306
48	8,834	299	5	1,723	302	25	2,491	306
49	8,797	302	6	3,596	298	26	2,904	304
50	7,332	295	7	2,182	298	27	2,935	303
51	6,937	279	8	2,301	301	28	13,490	204
52	5,966	300	9	1,788	291	29	11,905	308
53	6,328	299	10	2,111	307	30	15,795	308
54	6,257	298	11	3,302	296			



日田高校の見学の様子

II 調査活動

1. 天瀬町馬原で発見された地層調査

平成 30 年 4 月 1 日、北林栄一先生(元玖珠町中学校教諭)より天瀬町馬原出羽集落近くの高尾川流域から、化石と見られるものが発見されたとの連絡が博物館に入りました。

これを受けて、4 月 10 日に天草市御所浦白亜紀資料館長の長谷義隆先生、滋賀県足跡化石研究会の岡村喜明先生とともに、現地調査を行いました。

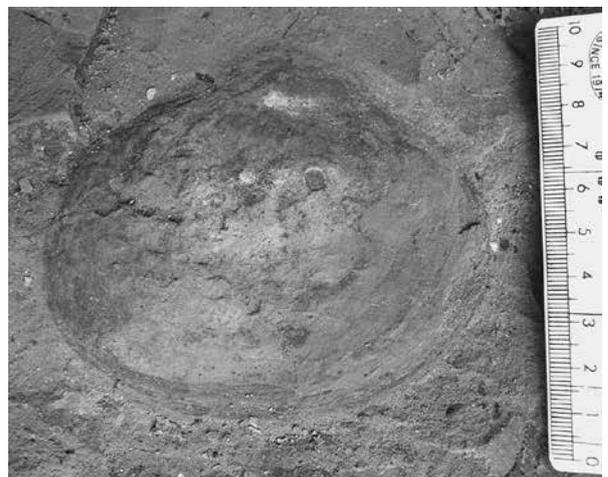
その結果、高尾川流域では、湖成層と見られる堆積層上部から足跡化石が複数存在すること、また、同川の流域では、植物化石や淡水産貝類化石が分布することが確認されました。

さらに、高尾川の支流である出羽集落の谷筋では見事な湖成層が見られ、さらにその上部からも足跡化石と見られるものが確認されました。

今後については、地元の方の理解を得ながら、これらの地層の年代や堆積層の状況を把握し、古環境の復元に向けての調査を実施していくことになりました。



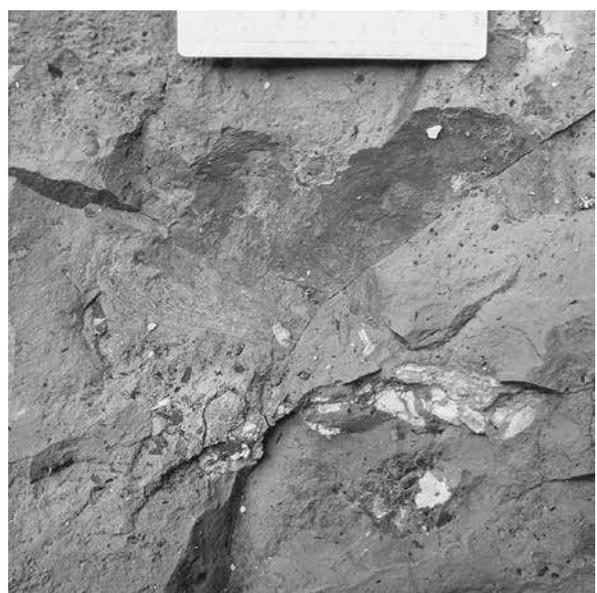
高尾川の湖成層



淡水産の二枚貝類(撮影 北林栄一氏)



西日本新聞(西日本新聞 5 月 17 日)



ヒシの実化石(撮影 北林栄一氏)

Ⅲ 教育普及活動

1. 展示事業

(1) 特別展

『博物館コラボミュージアム in 日田 とりになったきょうりゅうのはなしー化石が語る恐竜進化の物語ー』

期間 平成 31 年 3 月 16 日(土)～5 月 12 日(日)

場所 複合文化施設 1 階多目的ホール・2 階美術展示ギャラリー 3 階博物館企画展示室

期間中の入館者数 10,399 人

国立科学博物館が九州北部豪雨災害の支援事業として、実物恐竜化石や実物大のタルボサウルスなどのレプリカを無償で搬送し展示まで行ってくださり、日田市はじめての大きな特別展を開催することができました。

当館でもこれに合わせて、2 階では、マリオワールド夢工房泉さんのご協力で、流木や化石を使った恐竜オブジェや迷路コーナーを設け、土曜、日曜など期間限定の体験型の 3D 塗り絵コーナー、バーチャルアロサウルスコーナーを国立科学博物館提供で実施したほか、3 階では鳥について学ぼうコーナーを設けて、鳥の剥製や写真の他、久留米市鳥類センターのご協力で、いろいろな鳥の羽根や卵の展示を行いました。また、5 月 5 日には、子どもの日にちなんで「子どもの日クイズラリー」を開催したほか、ひた少年少女発明クラブのご協力で「空気砲で遊ぶ恐竜ゲームづくり」や筑後川流域連携倶楽部の平田昌之先生と日高正幸先生のご協力で、「化石レプリカづくり」を開催し、多くの子ども達で賑わいました。

『恐竜博士真鍋眞先生の特別講演会』及び『小野小学校特別授業』

期間 平成 31 年 3 月 21 日(木)・3 月 22 日(金)

講演会来場者数 60 名 小野小学校 6 年生 20 名対象

国立科学博物館のご厚意で、恐竜博士として世界に知られる真鍋眞先生をお迎えした特別講演会を開催いたしました。また、九州北部豪雨災害を受けて、戸山中学校で教室を借りて授業を受けている小野小学校の子どもたちに元気になってもらおうと真鍋先生による特別授業を開催し、この様子は真鍋先生と市内のケーブルテレビの協力で一般公開されました。



真鍋眞先生の特別講演会の様子



小野小学校での特別授業の様子



1階恐竜展本会場の様子



1階恐竜展本会場の様子



1階恐竜展本会場の様子



1階恐竜展本会場の様子



3階展示会場の様子



2階展示会場の様子



2階展示会場の様子



2階展示会場の様子



空気砲づくりの様子



化石レプリカづくりの様子



クイズラリーの様子



バーチャルアロサウルス体験の様子



恐竜展の案内に協力くださったスタッフの方々



恐竜展の案内に協力くださったスタッフの方々

熊本・大分地震および九州北部豪雨復興支援事業

国立科学博物館 コラボミュージアム in 日田

とりになった きょうりゅう のはなし

～化石が語る恐竜進化のものがたり～
科学絵本の世界を科博が再現!

写真：フクロノサウルス(鎌倉博物館展示) 題「この化石が何を物語っている?」(伴 大島英太郎)氏

科博の恐竜がやってくる!!

平成31年
3.16(土)～5.12(日)

●開館時間：午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
●休館日：月曜日が休館、月曜日が祝日の場合はその翌日
●入館料：無料

主催：日田市 日田市教育委員会 国立科学博物館
共催：日田県立博物館 日田市立博物館 日田市立図書館 日田市立生涯学習センター 日田市立体育館 日田市立市民会館 日田市立市民センター 日田市立市民ホール 日田市立市民会館 日田市立市民センター 日田市立市民ホール 日田市立市民会館 日田市立市民センター 日田市立市民ホール

特別講演会
恐竜博士がやってくる!
眞鍋真先生講演会

日時：平成31年5月21日(水・祝)
午後2時30分～午後4時
会場：アオーゼ2階 第2・3会議室
対象：どなたでも
定員：50名
お申し込み方法：
下記の日田市立博物館まで、お電話でお申し込みください。(先着順)

子どもの日クイズラリー
アオーゼ館内で、展示に関するクイズに挑戦! 参加者には記念品をプレゼント!

日時：5月5日(日)
午前10時～午後4時
受付：アオーゼ3階 博物館
対象：中学生以下
定員：先着100名様
※ご予約はできません。

体験イベント
①バーチャルアロサウルス
②3Dおぼえ
「恐竜の色はどんな色?」

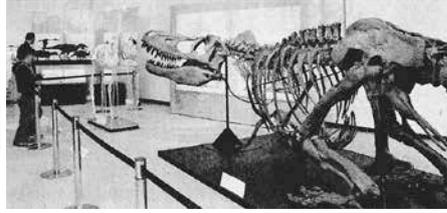
工作イベント
①北見アロサウルス
②恐竜×科学実験
「空気砲である恐竜ゲーム」

※イベントの実施日時や内容など、詳細については日田市立博物館のホームページをご覧ください。お電話でもお問い合わせください。

問合せ・申込先：日田市立博物館 TEL0973-22-5394 (大分県日田市上城内町2-6)

恐竜から鳥へ進化紹介

日田化石や骨格標本など



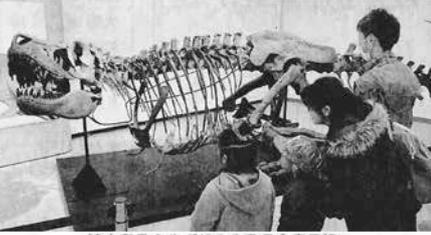
国立科学博物館(東京)を展示する企画展「とりになつたきょうりゅうのはなし」が、日田市上城内町の複合文化施設アオーゼで開かれている。5月12日まで。

熊本地産、九州北部産雨からの復興支援として同博物館が企画。展示品約20点を無償で貸し、運搬などの費用も負担している。展示はタイトルと同名のタルボサウルスとオオノワの全身骨格標本が見比べられる展示。

「所蔵する化石標本」を展示し、九州北部産の恐竜や子供を動かす化石も、このほか「オオノワ」や「アオノワ」の化石も展示した。また、化石標本の製作が実現した。材料本「とりになつたきょうりゅうのはなし」のパネルと約20点の化石標本を使い、1点の化石標本を製作し、今にも動き出しそうなタルボサウルスの全身骨格(全長7メートル)が、子供たちが驚かせる。オオノワやアオノワの頭骨標本もあり、その歯の複製レプリカを触れることもできる。

「恐竜の全身骨格は羽の生えた恐竜の登場、木の上暮らしを疑

骨格標本に興味津々



日田市と国立科学博物館「採られた世界」の迫りになったきょうりゅうのはなし」が、同市学への興味をかき立てて開催されている。場無料。

迫力あるタルボサウルスの全身骨格

「恐竜の全身骨格は羽の生えた恐竜の登場、木の上暮らしを疑

毎日新聞 平成31年4月8日 読売新聞 平成31年4月26日

「恐竜展」1万人

日田市の最多の入場者数

日田市上城内町の市複合文化施設アオーゼで開かれている特別展「とりになつたきょうりゅうのはなし」(大分合同新聞社後援)の入場者が11日に1万人を越えた。12日が最終日。特別展は市などの主催で、3人は2回目。市立博物館 来場者、光恵さんは「最初館(アオーゼ内)が開いたは子どもたちが追力に驚いた。日田でこれだけの入場者数で過去最多という。

1万人記念の入場者は市内吹上町の本多光恵さん(35)と旦那さん(4)、甥(大分合同新聞社後援)やんごの親子。梶原文人の入場者が、花束と本物の化石を贈った。3人は2回目の特別展は市などの主催で、3人は2回目。市立博物館 来場者、光恵さんは「最初館(アオーゼ内)が開いたは子どもたちが追力に驚いた。日田でこれだけの入場者数で過去最多という。

1万人記念の入場者は市内吹上町の本多光恵さん(35)と旦那さん(4)、甥(大分合同新聞社後援)やんごの親子。梶原文人の入場者が、花束と本物の化石を贈った。3人は2回目の特別展は市などの主催で、3人は2回目。市立博物館 来場者、光恵さんは「最初館(アオーゼ内)が開いたは子どもたちが追力に驚いた。日田でこれだけの入場者数で過去最多という。

日田・恐竜の特別展入場1万人に

本多さん親子に記念品

日田市複合文化施設アオーゼで開かれている特別展「とりになつたきょうりゅうのはなし」化石が語る恐竜進化のものがたり(西日本新聞社など後援)の入場者が11日に1万人に達し、来場した同市吹上町の本多光恵さん(35)親子に記念品が贈られた。展示は12日まで。

3月中旬から始まった同展は、国立科学博物館(東京)所蔵の化石やレプリカなどを展示し、恐竜から鳥への進化を解説している。トリケラトプスやティラノサウルスの実物大の頭骨(レプリカ)、実際に触れ



入場者1万人突破を祝って、記念の花束を贈られる本多光恵さん親子

られるステゴサウルスの化石などがある。アオーゼ内にある市立博物館の常設展そつで、親としてうれし



入場者1万人突破を祝って、記念の花束を贈られる本多光恵さん親子

西日本新聞 令和元年5月12日 大分合同新聞 令和元年5月12日

(2) 企画展

『自然の造形美～マリオワールドの世界～』 平成30年7月14日(土)～10月8日(月)

場所 博物館企画展示室 期間中の入館者数 4,480人

長崎県南島原市加津佐町に生まれ育った泉マリオさんは、登山で出会ったヨーロッパ人に惹かれ、世界72か国を訪れる旅に出ます。そして、そこで出会った人々、何気ない風景などを描いたり、写真を撮ったりしてきました。今は、随分と変わってしまった光景が、その絵や写真の中には、当時の様子を詳しく知ることができます。

泉さんは、旅先で化石と出会います。それから化石に魅了され、それを探し求めるようになります。そのうちに、こうした化石が見つかる自然環境に興味を持つようになり、芦屋海岸をはじめとする九州の海岸線で化石やそこにしかない様々な石、そして世界のどこからか流れついた流木に心ひかれ、イメージーションでそれを人や動物などの形にする造形作品をつくるようになります。そして、こうした作品や化石などを展示する私設の博物館「マリオワールド夢工房」を立ち上げました。

企画展では、泉さんが旅先で描いた心象風景や撮影した写真、集めた化石、そして造形作品の数々を展示しました。夏休み期間中の開催でもあり、多くの子どもたちもきました。みんなマリオワールドの世界観を十分に堪能していただけたのではないかと思います。

また、期間中の7月22日には泉マリオさんの指導により福岡県芦屋町芦屋海岸で化石や貝、流木拾いを行い、7月29日にはその時に拾ったものを使ってアート作品に仕上げる体験教室を開催しました。



企画展会場の様子

平成30年度 日田市立博物館第1回企画展

自然の造形美

マリオワールドの世界

平成30年7月14日(土)～10月8日(月)

複合文化施設アオーゼ 3階 博物館企画展示室

世界に暮らす人々やその土地の風景を描いた絵画や写真、世界で見つけた様々な化石、化石や流木を使った造形物など泉さんの作品約150点を展示します。

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日) 主催 日田市立博物館
開 館 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで) 協力 マリオワールド夢工房
入 場 料 無料

企画展イベント

① 流木と化石を採集しよう!! 日時 平成30年7月22日(日) 場所 福岡県芦屋町芦屋海岸 定員 20名(小学4年生以下は保護者同伴)
② 流木と化石を使って造形作品をつくろう!! 日時 平成30年7月29日(日) 場所 日田市複合文化施設アオーゼ3階体験学習室 定員 20名(小学4年生以下は保護者同伴)

日田市立博物館 〒877-0003 大分県日田市上穂内町2番6号 日田市複合文化施設A03E 3階 ☎ 0973-22-5394



展示の様子



展示の様子

記念グッズの販売も行いました



芦屋海岸での化石・流木探し体験の様子

化石や流木 自然の造形美
 日田市立博物館 泉マリオさん作品展

日田市の造形作家、泉マリオさん(69)の作品を紹介する「自然の造形美 マリオワールドの世界」が、同市立博物館で開かれている。

泉さんは21歳の頃から世界各地を訪れ、絵画の制作や化石収集などを手がけてきた。現在は流木などを使った作品づくりをしている。会場では、絵画や写真、

化石など約400点を展示。化石に触られるコーナーもある。

同館の行時志郎主幹は「泉さんの作品や行動力から、チャレンジ精神や夢を追いかけるとの大切さを感じてほしい」と話している。

10月8日まで。月曜休館(祝日の場合は翌日休館)。入館無料。問い合わせは同館(0973・22・5394)へ。

エンジョイ 大分

流木などで作った泉さんの作品

読売新聞 平成30年8月10日

世界の風景画や造形ずらり



採集した化石や流木の作品が並ぶ泉マリオさん（右奥）の作品展

日田の泉さんが作品展 市立博物館

日田市夜明上町でカフェ・工房「マリオワールド夢工房」を主宰する泉マリオさん(69)の作品展が、同市上城内町の市立博物館で開かれている。世界各国を旅して描いた風景画や写真、化石や流木を使った造形作品など約400点を並べている。10月8日まで。無料。

長崎県出身の泉さんは中学卒業後に大阪府で就職した。大阪万博で知り合ったカナダ人に感銘され「自分も世界を見たい」と各国を旅するようになった。欧州や中南米など、訪れた国は72カ国に上るといふ。旅の途中で立ち寄り

た日田の風景が気に入り、約30年前に日田に移り住み、旅の傍ら九州各地で化石採集や海岸の流木を使ったアートの制作も続けてきた。

展示では泉さんが撮った世界の人々の写真や、街のたすまいを描いた絵画、アンモナイトなどの貴重な化石の他、流木を使った空想上の建物や動物の作品などを紹介している。

同館担当者は「泉さんの行動力を感じ、世界を知ることの面白さを感じてほしい」と話す。月曜休館。問い合わせは同館☎0973(22)5394。(小川勝也)

西日本新聞
平成30年8月10日

日田市立博物館、泉マリオさん紹介

日田市立博物館（市内上城内町）は、世界各地を旅して市内で工房・カフェを開く泉マリオ（本名・法勇）さん(69)を紹介する企画展を開いている。旅先の人、風景を収めた写真、絵画や収集した化石、木工芸作品を展示。パイタリティーあふれる生き方に触れることができる。



日田市立博物館で泉マリオさんを紹介する企画展。泉さんが九州各地で収集した化石、手彫りや海岸の漂着物などで作った木工芸作品。日田市

世界旅した男の軌跡

「生き方のヒント学んで」

長崎県出身の泉さんは、就職した大阪で出会ったカナダ人に触発されて1971年から1年間、世界を旅行。さらに船員として4年間、単独旅行で6年間、各地を回り、計72カ国を訪れた。87年に日田に落ち着き、2007年に夜明上町の古民家で現在の「マリオワールド夢工房」を開いた。

同展は「たくましい行動力から子どもたちなどに生き方のヒントを学んでもらいたい」と企画。約400点を展示する。

3部構成で、第1部は泉さんの旅と人生を物語る写真、絵画を展示。南米では現地民の素朴な姿を撮影。各地の子どもたちの生き生きとした表情も印象的だ。第2部は化石。世界旅行中に各地で買い求めた三葉虫やアンモナイトなどさまざまな種類がある。

第3部は現在の「マリオワールド」。日田を拠点に九州各地の海岸を回って採集した化石を展示。木工芸は福岡県などの海岸に漂着した木切れなどを使ったユニークな作品が並ぶ。「世界のどこでも直接出掛けて、現地で見つけてくるのが面白い。木工芸は素材を拾った時にひらめいたものを作っている」と泉さん。

企画展「自然の造形美！マリオワールドの世界」は10月8日まで。(木本康)

× 日田市立博物館は開講イベントで29日(小学)生を対象とした化石・化石採集を企画する。場所は福岡県豊前市の海津。定員10人参加費を無料としている。無料。29日は採集した化石を使った造形作品を作る。小学3年生以下は保護者同伴。申し込みは同館☎0973(22)5394。

大分合同新聞 平成30年7月20日

『鳥と人との関わり-日田の野鳥のひみつ』展 平成30年10月27日(土)~31年1月30日(日)

場所 博物館企画展示室

期間中の入館者数 3,168人

日田市は、山や川に恵まれ、多くの野鳥を見ることができます。そこで、その野鳥についての生態や種類、さらには鳥と人との関わりの歴史についても紹介した企画展です。展示では、日本野鳥の会大分県支部や久留米市鳥類センター、うきは市吉井町歴史民俗資料館、小郡市埋蔵文化財センター、天領日田洋酒博物館、長崎ペンギン水族館、英彦山神宮、福岡市動物園、福岡市埋蔵文化財センター、マリオワールド夢工房、吉野ヶ里歴史公園管理センターなどの協力で開催いたしました。



展示の様子



通路に展示された野鳥パネルと説明会の様子



企画展示室の様子



説明会の様子



説明会の様子



鳥への進化を紹介し、博物館が所蔵する野鳥の剥製を展示した。古墳から出土した鶏型土器や歴史資料に描かれた鳥についても紹介。クシャクやエミューの羽根、ダチョウの卵のほか、色とりどりの鳥をかたどったウイスキーボトルなどユニークなウイスキーボトル

鳥と人の歴史など紹介 野鳥の会協力 日田で企画展

空を自由に飛ぶ鳥たちの進化の歴史や人との関わりを紹介する企画展が、日田市上城内町の市立博物館で開かれている。同市に生息する野鳥を紹介したコーナーがあり、日本野鳥の会協力の協力で山、川、市街地に分け、それぞれの場所で観察できる鳥を写真で紹介している。来年1月20日まで、入場無料。

鳥と人の関わりを歴史からひもとくコーナーでは、イラストや化石で恐竜からクマ展示もある。展示総数は約1300点。博物館は、企画展に合わせて今年18日午前9時から野鳥観察イベントを開く。参加は無料。定員40人で事前申し込みが必要。期間中、企画展に協力した久留米市鳥類センター（福岡県）や九州歴史資料館（同）など関連施設を3カ所以上巡ると記念品がもらえるイベントも開催している。博物館097-3-2225394。（小川勝也）

西日本新聞 平成30年11月16日

日田市立博物館で「鳥と人のかかわり」展



鳥をモチーフにした酒瓶を展示。ニワトリ形の土製品のレプリカ。つばに見えが、ニワトリの体を覆くように穴が空いている。古代は神秘的な存在だった。日田市上城内町の市総合文化施設アオーゼ



江戸時代の日田の歴史書「豊前記」には、タカが飛び立った後に大雨が降り、水が引いて日田が誕生したとの伝説が記されている。6世紀のものでされる石井のガランドヤイ骨墳(国史跡)

古代の土器、酒瓶など展示

日田市内の山や川、街で観察できる野鳥の写真も。猛禽類のトビ、翼が黄色で尾が真っすぐ伸びたキセキレイは亀山公園にすみ、身近な存在であることを紹介している。

展示に協力した日本野鳥の会の会長森修一さん(右)は「日田では200種類ほどの鳥が見られる。それだけ餌となる生き物がいて自然が豊かな証」と話す。

開場は午前9時〜午後5時。月曜日休館。問い合わせは博物館(097-3-2225394)。(井上紀子)

知って野鳥の秘密

日田市立博物館(上城内町)は、企画展「鳥と人のかかわり」日田の野鳥のひみつを聞いている。市内には「日田はオオタカが飛び立つてできた」との言い伝えや鳥を描いた古墳が残り、鳥とのゆかりは深い。ニワトリをモチーフにした古代の土器や酒瓶も並べ、日田に生息する鳥を紹介している。来年1月20日まで、入場無料。

の歴史には、人や太陽、舟に加え、鳥も描かれており、神聖化された存在だったことがうかがえる。機本知佳子委員は「当時、空を飛ぶ鳥は人間にとってあこがれの存在。死後の世界と人間を結ぶ神の使いと考えられたのでは」と解説する。

福岡県をはじめ近隣の文化財も展示。ニワトリ形の土製品は小都市の津古生垂古墳で見つかった。底に穴が開いており、祭祀に使用したとみられる。

日田の野鳥観察図鑑
バードウォッチングにだけよう!

楽しく見つける
はじめの65種

日田市立博物館

大分合同新聞 平成30年12月13日

企画展図録

(3) 第 57 回小・中学生自然研究作品展 9 月 19 日(水)～10 月 8 日(月・祝)

出展数 229 点 期間中の入館者数 1,090 人(大人 554 人子供 536 人)

この作品展は、昭和 36 年度からはじまり、子どもたちが夏休みの自由研究として取り組んだ作品のうち、「自然・科学」をテーマとしたものを対象に各学校から優秀作品を選び一堂に展示する催しで 57 回目を迎えました。市内の小中学校 19 校から力作 229 点が寄せられ、この中から各学校理科主任や博物館協議会委員・博物館職員の投票・審査を経て、成績のよかった 63 作品に教育委員会賞を授与いたしました。

また、ご後援ご協力をいただいた報道関係機関や関係団体から特別賞をいただきました。学校関係者並びに多くの関係機関及び関係団体の皆さまに心より感謝申し上げます。

教育委員会賞

-小学生-

咸宜小 1 年永瀬 瑠華	光岡小 1 年平川 碧人	桂林小 1 年山川 諒
桂林小 1 年穴井 咲来	光岡小 2 年井上 麻衣	光岡小 2 年武内 優月
日隈小 2 年福島 由彩	高瀬小 2 年宮崎 菜々美	光岡小 2 年坂本 悠虎
高瀬小 2 年栗野 暖斗	若宮小 2 年石倉 玄登	桂林小 3 年岡部 麗霸
有田小 3 年菅原 絆	咸宜小 3 年三笥 結愛	日隈小 3 年山田 龍太
三芳小 3 年重藤 浩太	有田小 3 年秋山 小乃羽	光岡小 4 年武内 灯希
日隈小 4 年宮本 脩介・長野 さゆり		高瀬小 4 年都甲 愛音
三芳小 4 年中野 由絃	日隈小 4 年田邊 璃奈	大明小 4 年太郎良 有可
桂林小 4 年岩崎 南奈	桂林小 4 年山元 実桜里	大山小 4 年矢野 結子
朝日小 4 年坂本 郁歩	咸宜小 5 年木下 桃子	朝日小 5 年黒野 由依
朝日小 5 年高瀬 七菜	三和小 5 年小野 公次郎	日隈小 5 年三隅 春奈
三芳小 5 年安武 朱里	桂林小 5 年中島 花歩	桂林小 5 年松本 和佳
桂林小 5 年宇野 律人	津江小 5 年津山 我聞	三芳小 5 年原 愛美
三芳小 5 年重藤 開	三芳小 5 年高森 元斗	三芳小 5 年上野 諒磨
三芳小 5 年片野 海里	咸宜小 6 年池上 歩花	朝日小 6 年西田 果琳
三和小 6 年華藤 善優	光岡小 6 年坂本 悠晟	光岡小 6 年梶原 陽介
高瀬小 6 年野村 枝暉	津江小 6 年津山 蓮	有田小 6 年秋山 遙斗
有田小 6 年吉田 堇	石井小 6 年菅原 瑠華	小野小 6 年永野 晴香
高瀬小 6 年栗野 壽斗	高瀬小 6 年廣瀬 帆香	有田小 6 年村上 倫
有田小 6 年井上 千弘路		

-中学生-

三隈中 1 年久富 慎太郎 北部中 1 年小笠原 鳳花 三隈中 1 年横山 ゆりん
三隈中 1 年横尾 怜央 大明中 2 年梶原 佑士郎 大明中 2 年石井 陽菜

特別賞

【毎日新聞社賞】桂林小 1 年 山川 諒
【西日本新聞社賞】高瀬小 6 年 栗野 壽斗
【朝日新聞大分総局賞】有田小 6 年 井上 千弘路
【大分合同新聞社賞】日隈小 4 年 田邊 璃奈
【読売新聞西部本社賞】光岡小 3 年 藤木 駿
【地元新聞社賞】日隈小 2 年 福島 由彩 有田小 6 年 村上 倫
【KCV コミュニケーションズ賞】咸宜小 1 年 石川 摩耶 小野小 6 年 小袋 廉心
【郷土日田の自然調査会賞】桂林小 1 年 穴井 咲来
【日田自然愛好会賞】桂林小 1 年 穴井 咲来
【ひた水環境ネットワークセンター賞】桂林小 4 年 山元 実桜里
【日田天文同好会賞】三和小 6 年 華藤 善優
【日田市連合育友会賞】高瀬小 6 年 野村 枝暉
【日田漁業協同組合長賞】
高瀬小 2 年 栗野 暖斗 日隈小 4 年 宮本 脩介・長野 さゆり
桂林小 4 年 山元 実桜里
【ひた少年少女発明クラブ協議会賞】桂林小 5 年 松本 和佳
【博物館協議会委員長賞】光岡小 6 年 坂本 悠晟
【博物館長賞】光岡小 2 年 坂本 悠虎
【日田昆虫同好会賞】日隈小 3 年 山田 龍太
【ひたスタイル賞】
咸宜小 1 年 永瀬 瑠華 小野小 1 年 柳瀬 成瑠 日隈小 1 年 田中 大樹
桂林小 2 年 武内 瑛音 光岡小 4 年 武内 灯希 三芳小 4 年 坂口 のなみ
日隈小 5 年 三隅 春奈 三和小 6 年 青木 真奈実 光岡小 6 年 梶原 陽介
高瀬小 6 年 栗野 壽斗 有田小 6 年 村上 倫 大明中 2 年 梶原 佑士郎

出展内訳表（学校・学年別）

—小学校の部—

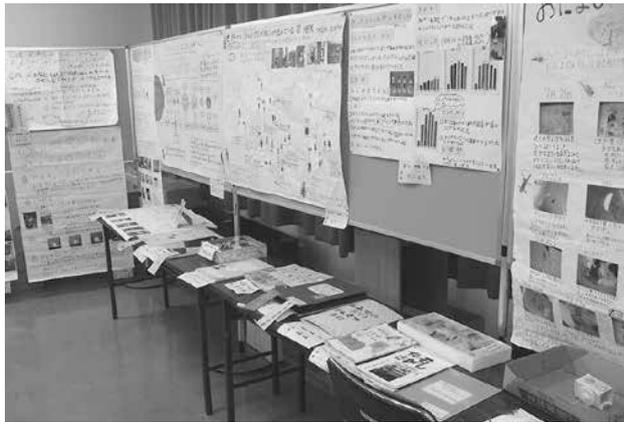
	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	咸宜	2	2	3	3	3	1	14
2	大山		1	1	3	5	9	19
3	朝日			1	4	5	7	17
4	三和	1	3	1		5	8	18
5	光岡	3	4	2	2	2	3	16
6	小野	1	1	1	2		3	8
7	日隈	4	1	3	5	5	1	19
8	高瀬		2		6	3	6	17
9	三芳			1	3	7	1	12
10	東溪				1			1
11	大明				3		1	4
12	若宮		1	1		2	4	8
13	桂林	4	3	5	4	5		21
14	津江					2	1	3
15	有田		1	3	5	5	6	20
16	石井						1	1
計 16 校		15	19	22	41	49	52	198

—中学校の部—

	学校名	1年	2年	3年	合計
1	大明	2	3		5
2	三隈	20			20
3	北部	6			6
計 3 校		28	3	0	31



作品展示の様子



作品展示の様子

夏休みの研究成果ずらり

日田で小中学生の作品展

日田市の小中学生自然研「研究、標本作りなどさまざまな作品展（大分合同新聞社）が上城内町の市立博物館で開かれている。市内児童生徒が夏休みに取り込んだ229点を展示している。10月8日まで。

動植物の観察や身の回りからテーマを設定した科学



市内の小中学生が夏休みに取り込んだ229点を展示する日田市立博物館

て感想を記した。同館の担当者は「猛暑だったことや昨年、今年の豪雨災害を反映してか気象や気温、湿度に関する研究が多かった」と話している。展示は午前9時～午後5時。期間中の25日、10月1日は休館日。問い合わせは同館（☎0973・22・5394）。

大分合同新聞 平成30年9月25日

2. 普及啓発活動

(1) アオーゼ 2 周年記念事業

ギギ男爵からの挑戦状 参加者 100 名

アオーゼの開館 2 周年を記念して、1 日限りの謎解きクイズラリー「ギギ男爵からの挑戦状」を 8 月 12 日（日）に開催しました。このクイズラリーに参加できる対象年齢は中学生以下で実施しました。

最後までクイズをすべて解いた子どもたちには、マリオワールド夢工房で製作した特別なアクセサリ―や化石などをプレゼントいたしました。



クイズラリーの様子

(2) MKG(三隈川)総選挙

投票期間 平成 30 年 7 月 21 日(土)～8 月 10 日(金) 投票結果発表 8 月 11 日(土)

日田には大小 160 以上の名前を持つ河川が流れていますが、その中には魚類や両生類、爬虫類、甲殻類など多くの生物が暮らしています。博物館の水辺の生き物コーナーでは、市内に生息する生き物たちの生態展示を行っていますが、より多くの市民に川や水辺に暮らす生き物に関心を持ってもらうため、みんなの好きな川の生き物ナンバー1を決める総選挙(MKG 総選挙)を平成 26 年度より行っています。

投票の結果、平成 30 年度は立候補 48 種の中から「メダカ」がみごとに 2 年連続の 1 位を獲得いたしました。



MKG 総選挙の結果

(3) 科学実験にチャレンジ事業

平成30年度から、これまで夏休みに2回行っていた科学実験教室は大変人気がありました。そこで、子どもたちに1年間を通じて楽しい科学実験を体験してもらうことを目的に、ひた少年少女発明クラブに委託して、年10回に拡大して実施することになりました。

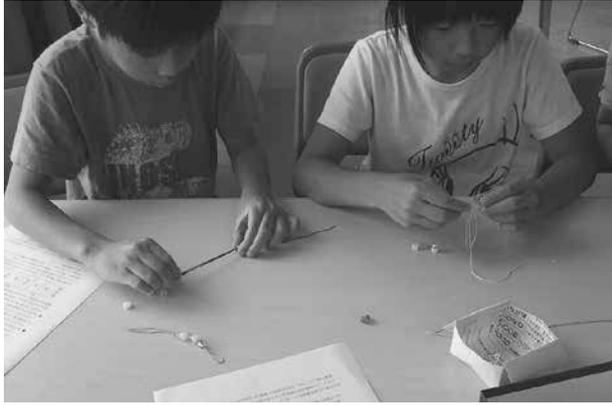
実施日	内容	場所	参加者数
平成30年5月19日(土)	パタパタ飛行機づくり	体験学習室	56名
平成30年6月16日(土)	スライムづくり	体験学習室	75名
平成30年7月21日(土)	UVストラップづくり	会議室I	55名
平成30年8月18日(土)	浮沈子づくり	体験学習室	36名
平成30年9月15日(土)	万華鏡づくり	体験学習室	70名
平成30年10月20日(土)	ホバークラフトづくり	会議室I	51名
平成30年11月17日(土)	トンボ型やじろベネづくり	体験学習室	52名
平成30年12月15日(土)	オリジナルキャンドルづくり	体験学習室	66名
平成31年1月19日(土)	ゴム動力紙コップカーづくり	体験学習室	37名
平成31年2月16日(土)	葉脈標本づくり	体験学習室	22名



1回目 パタパタ飛行機づくりの様子



2回目 スライムづくりの様子



3回目 UVストラップづくりの様子



4回目 浮沈子づくりの様子



5回目 万華鏡づくりの様子



6回目 ホバークラフトづくりの様子



7回目 トンボ型やじろべえづくりの様子



8回目 エコキャンドルづくりの様子



9回目 ゴム動力紙コップカーづくりの様子



10回目 葉脈標本づくりの様子

(4) 幼児の好奇心をのばす自然博物館事業

平成 30 年度より、大分県ネイチャーシェアリング協会に委託し、小学生未満の幼児を対象に、春、夏、秋、冬の年 4 回開催するネイチャーゲームを実施しました。1 回目の春は、悪天候のために中止となりましたが、子どもたちはネイチャーゲームに夢中になっていました。

実施日	内容	場所	参加者数
平成 30 年 8 月 5 日 (日)	夏のネイチャーゲーム	亀山公園	11 名
平成 30 年 11 月 3 日 (日)	秋のネイチャーゲーム	亀山公園	20 名
平成 31 年 3 月 24 日 (日)	冬のネイチャーゲーム	亀山公園	17 名



1 回目 夏のネイチャーゲームの様子



2 回目 秋のネイチャーゲームの様子



3 回目 冬のネイチャーゲームの様子

(5) 小・中学生対象自然観察教室（自然探検隊）

参加者小学生9人・保護者3人

平成29年度から新たに小中学生を対象に、日田の美しい自然が残る場所を探検する自然探検隊員を募集し、年5回実施しました。郷土日田の自然調査会の合谷先生、春末先生、奥森先生、梶原先生が指導者として引率・説明にあたりました。参加者からは「日田にこんな美しい自然の残る場所があることを始めて知った」という感想が多く聞かれました。

実施日	内容	場所	参加者数
平成30年5月27日(土)	第1回自然探検教室	曾田の池	19名
平成30年6月24日(土)	第2回自然探検教室	上津江フィッシングパーク	17名
平成30年8月26日(土)	第3回自然探検教室	釈迦岳	12名
平成30年9月23日(土)	第4回自然探検教室	御前岳	12名
平成30年11月18日(土)	第5回自然探検教室	大山町	10名



1回目 曾田の池



2回目 上津江フィッシングパーク



3回目 釈迦岳



4回目 御前岳



5回目 大山町



自然探検隊展示パネル

(6) 夏休み小・中学生対象自然教室

平成 29 年度の夏休み小・中学生自然教室は、植物教室 1 回、昆虫教室 1 回、植物昆虫同定会 1 回、科学実験教室 2 回、干潟観察会 1 回を行いました。このうち、植物教室、昆虫教室、植物昆虫同定会は、博物館が開館した翌年の昭和 36 年から始まり、57 年以上続く歴史ある教室です。また、科学実験教室はこれまで夏休みのみの開催でしたが、人気があるので平成 30 年度からは回数を増やし、年 10 回の開催を行っています。干潟観察会は、中津市の NPO 法人水辺に遊ぶ会の協力で平成 22～26 年まで行ってきましたが、平成 27・28 年度は博物館移転作業のために休止していましたが、平成 29 年度より再び開催することにしました。各教室の開催日、参加人数、内容等は下記のとおりです。

	実施日	場所	参加者	指導
植物教室	平成 30 年 7 月 29 日(日)	上津江フィッシングパーク	20 名	郷土日田の自然調査会
昆虫教室	平成 30 年 8 月 5 日(日)	菽尾公園・3 階体験学習室	15 名	郷土日田の自然調査会
植物昆虫同定会	平成 30 年 8 月 19 日(日)	アオーゼ 3 階体験学習室	20 名	郷土日田の自然調査会
干潟観察会	平成 30 年 7 月 24 日(火)	中津市大新田浜	23 名	NPO 法人水辺に遊ぶ会
干潟観察会	平成 29 年 7 月 25 日(水)	佐賀市東与賀海岸	11 名	NPO 法人大川未来塾



昆虫教室(杷木尾公園での昆虫採集と標本づくり)



地質探検教室(阿蘇火山博物館と草千里の観察)



中津大新田干潟観察会



有明海東与賀海岸干潟観察会

(7) 一般市民対象自然教室

博物館では、一般対象自然教室として、日田天文同好会に指導いただいて星空観察会(春・夏)を、日田自然愛好会に指導いただいて自然観察会(春・秋)を、日本野鳥の会大分の日田地区支部に指導いただいて探鳥会(春・秋・冬)を実施しています。実施日等は以下のとおりです。

星空観察会

内容	実施日	場所	参加者数	指導
春の星空観察会	平成 30 年 5 月 19 日(土)	桂林小学校	25 名	日田天文同好会
夏の星空観察会	平成 30 年 8 月 18 日(土)	桂林小学校	48 名	日田天文同好会

探鳥会

内容	実施日	場所	参加者数	指導
春の探鳥会	平成 30 年 5 月 20 日(日)	伏木公園	16 名	日本野鳥の会日田地区支部
秋の探鳥会	平成 30 年 11 月 18 日(日)	亀山公園	25 名	日本野鳥の会日田地区支部
冬の探鳥会	平成 31 年 2 月 3 日(日)	亀山公園	20 名	日本野鳥の会日田地区支部

自然観察会

内容	実施日	場所	参加者数	指導
春の自然観察会	平成 30 年 5 月 19 日(土)	釈迦岳	25 名	日田自然愛好会
秋の自然観察会	悪天候のため中止			



星空観察会



春の探鳥会



秋の探鳥会



春の自然観察会

(8) 職場体験の受け入れ

博物館では、毎年中学校からの要請により、職場体験を実施しています。平成30年度は、8月30日・31日に三隈中学校2年生が職場体験に訪問してくれました。

体験内容としては、展示室や展示物の清掃、資料の作成などを行いました。来館者から気付かれにくい裏方の仕事や通常は博物館スタッフでなければ触れられない展示物に触れていただくことで、博物館の仕事を身近に感じていただいたことと思います。

(9) 博物館実習の受け入れ

博物館では、毎年大学からの要請により、博物館実習を実施しています。平成30年度は、久留米大学文学部国際文化学科3年生の岩下維希さんが7月18日から28日までの10日間にわたって、当館での実習に取り組んでいただきました。

子どもたちに優しく、とてもよく頑張ってくださいました。これからも博物館学芸員の道を歩んでいただきたいと思います。



博物館実習の様子(科学実験にチャレンジ)

IV その他

ニホンヤマネが中津江村の民家で見つかる

平成31年1月中旬、中津江村堤集落の民家からヤマネに似た動物が見つかったので、博物館で見てもらいたいとの連絡が入りました。

当館には、ほ乳類を専門とする学芸員はいませんので、早速現地に向かい写真とビデオ撮影を行い、大分県を通じて専門家に問い合わせさせていただいた所、「ニホンヤマネ」に間違いはないということでした。しかし、ニホンヤマネは天然記念物であり捕獲・飼育は禁止であることから、地元の子どもたちに見せて森に返す予定にしました。

ところが、その前日になり「ニホンヤマネ」は冬眠から目を覚まし、姿がわからなくなってしまいました。

途中で温かい日が続いたこともあり、目を覚ましたニホンヤマネは森へ帰って再び冬眠したとみられます。

超短波
大分県日田市の中津江村の永瀬弘信さん(86)方で昨年
末、国の天然記念物ニホンヤマネが見つかった。家族が寝る準備をしていたところ、毛布の中から体を丸めたまま転がり出てきた。
日本固有で全長約13センチの夜行性哺乳類。数百万年前から生息し「生きた化石」と呼ばれる。冬眠中とみられ、プラスチック容器に寝床を作って保護した写真、日田市立博物館提供。
地元の小学生に見せた後で森に返す予定だったが、数日前に行方が分からなくなったという。
市立博物館の行時志郎主任は「寒い冬、外敵もない、良いホテルとと思っていたのかな」と、年の瀬に訪れた「珍客」の心中をおもんばかった。

西日本新聞 平成31年1月30日

中津江に「ニホンヤマネ」

日田市中津江村で、国の天然記念物に指定され、「生きた化石」と呼ばれる「ニホンヤマネ」が冬眠中の状態で見つかった。既に逃げてしまっていることはできないが、専門家によると、九州では絶滅の恐れがあり、発見して撮影できたのは「非常に貴重」。ヤマネは地域によって冬眠時期などが違うため、市内で1月に冬眠することが確認されたことは「学術的にも意義がある」という。

【尾形有菜】

“生きた化石” 国天然記念物

ヤマネは昨年12月31日夜、同市中津江村の永瀬弘信さん(86)宅で見つかった。妻豊子さん(83)が、帰省していた次男と寝床の準備をしようとして布団を運んでいる際、毛布から毛玉のようなものがころころと転がってきたという。豊子さんは「ネズミは丸くはならないし、何だろう」と思い、次男がインターネットで調べたところ、ヤマネ

民家の布団で冬眠中発見 撮影「貴重」 1月確認「学術的に意義」



永瀬さん宅で見つかった冬眠中のニホンヤマネ
＝日田市立博物館提供

おり、冬眠から目覚めて出ていったとみられる。日本唯一のヤマネ博物館「清泉寮やまねミュージアム」(山梨県)によると、ニホンヤマネは夜行性の哺乳類で、体長は約8センチ。生物学の分類上、「二属一種」と固有性が高い

動物だ。本州と四国、九州に分布しており、1975年に国の天然記念物に指定された。同館の館長でニホンヤマネ保護研究グループ会長を務める、関西学院大の湊秋作教授(66)は、民家で発見されたことについて「ヤマネは柔らかい土や木

の中で冬眠する。人なつっこい習性があるた



コケの上を歩くニホンヤマネ
＝©湊 秋作 / 清泉寮やまねミュージアム

め、民家に入り、布団が柔らかくて気持ち良かったのではないかと指摘する。湊教授によると、ヤマネの冬眠時期は地域によって異なり、冬眠をしない地域もある。中津江村のヤマネが1月に冬眠していることは新たな発見であり、研究の側面からも価値ある出来事だという。湊教授は「普段見ることは難しく、見かけたらラッキーな動物だ。ヤマネを守ることが自然を守ることでもあるので、大切にしてほしい」と語った。

日田市立博物館 年報 第52号
2020年3月（平成30年度版）

編集・発行 日田市立博物館
〒877-0003 日田市上城内町2-6
TEL 0973 (22) 5394
印 刷 カワハラ企画